

あなたにできることが
たくさんあります。

寄付・募金からはじめる

寄付や募金で現地のプロジェクトをサポート。
女子学生奨学金/教材開発・環境教育支援/
高校教室建設

技術や経験を生かす

技術や資格を生かしたサポート。
理数科教育/環境教育/情報の収集・分析/
村落開発/翻訳・広報/教材開発

知る・学ぶ・交流からはじめる

みんなの学校と日本の教育現場をつなぐリン
キングを推進しています。
姉妹校/スタディツアー/募金活動

寄付先

三菱東京UFJ銀行新宿中央支店
普通口座 5506415
アフリカリカイ
郵便振替 00110-0-280103
アフリカ理解プロジェクト

アフリカ理解プロジェクト

東京 146-0093東京都大田区矢口1-11-8
Tel/Fax: 03-3758-5665
info@africa-rikai.net
エチオピア P. O. Box 436, Adama, Ethiopia
Tel: +251 916 580016
GTF(パトナ-NGO) <http://www.gtf.org.et>



カラユの人々が暮らすオロミア州東ショフ県
ファンターレ郡は、大地溝帯の底に位置し、標高
は1000メートル、雨量は年間500ミリ前後、乾
季の最高気温は40度に達する乾燥地域です。
カラユの人々はラクダを中心とした牧畜で暮ら
しています。

エチオピア

みんなの学校プロジェクト

よい教育がよい指導者を選びます。

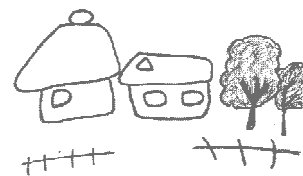


アフリカ理解プロジェクト

<http://africa-rikai.net>

AFRICA RIKAI PROJECT

アフリカに理解を。サポーター・パートナーを募集しています。



アフリカ理解プロジェクトは、サハラ以南アフリカのなかでも、特に厳しい状況下にある牧畜民コミュニティでの教育支援や女性支援を、2005年より現地NGOとともに進めています。また、この事業を通じて、「グローバルな視野と行動力を持つ人材の育成」にも取り組んでいます。

みんなの学校の目的

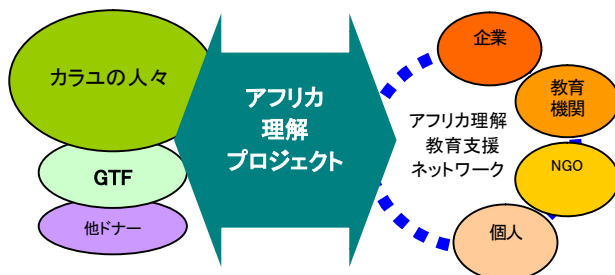
カラユの子どもたちと地域社会が自立し、困難に立ち向かい、自ら改善策・解決策を見つけ出す力を身につけること。

基本方針

- ・自立支援
- ・現地NGOとのパートナーシップ
- ・女子教育支援
- ・教育支援ネットワーク

アフリカ理解プロジェクトの役割

アフリカ理解プロジェクトは、人と人、可能性と支援をつないでいます。



“たくさんのリーダーを育てています”

みんなの学校のこれまでの成果とこれからの計画

環境教育の推進

子どもたちや地域住民が、環境保全や生計向上を学ぶ場として、野村環境教育センターを建設しました。2008年から、このセンターの資機材と運用プログラムの充実、人材派遣を行ないます。

教育施設と教材の整備

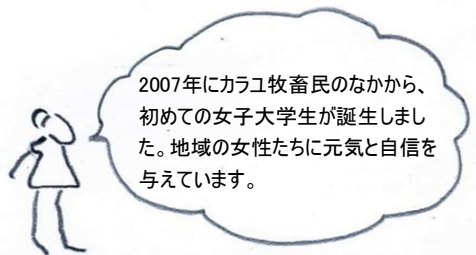
GTFと協働で、教材開発センターの建設、中学校教室建設を行ないました。2008年からは、高校施設と教育教材の充実を図ります。

教育の質を向上

両親が教育の成果を見る機会、子どもたちの能力を高める機会としてエッセイコンテスト、また、理科・数学の能力向上のために、日本人教師の派遣などを行なっています。今後も、地域とコミュニティに貢献するリーダーたちを育てるために、質の高い教育を提供していきます。

女子教育の推進

小学校から大学まで一貫して、リーダーシップと成績にすぐれた女子学生に奨学金を支給しています。女子教育は女性の地位向上、平等な社会の実現に役立っています。



2007年にカラユ牧畜民のなかから、初めての女子大学生が誕生しました。地域の女性たちに元気と自信を与えています。



野村環境教育・教材開発センターが完成。「環境教育の第一歩は、一本の木を植えることから」



『人間の安全保障の根拠償資金』で中学校4教室を建設。「40℃を超える暑さをしのぐために、壁を厚く丈夫なつくり」



女子学生ひとりあたり年間5万円の奨学金を継続して支給。「私に与えられたこのチャンスを最大限に生かします」



日本の支援者が現地を訪れ交流。「寄付がどのようにつかわれ、役立っているのが、よく分かりました」



現地NGOとパートナーシップで事業を実施。「現地に精通するNGOとの連携が、適切な事業を可能にしています」